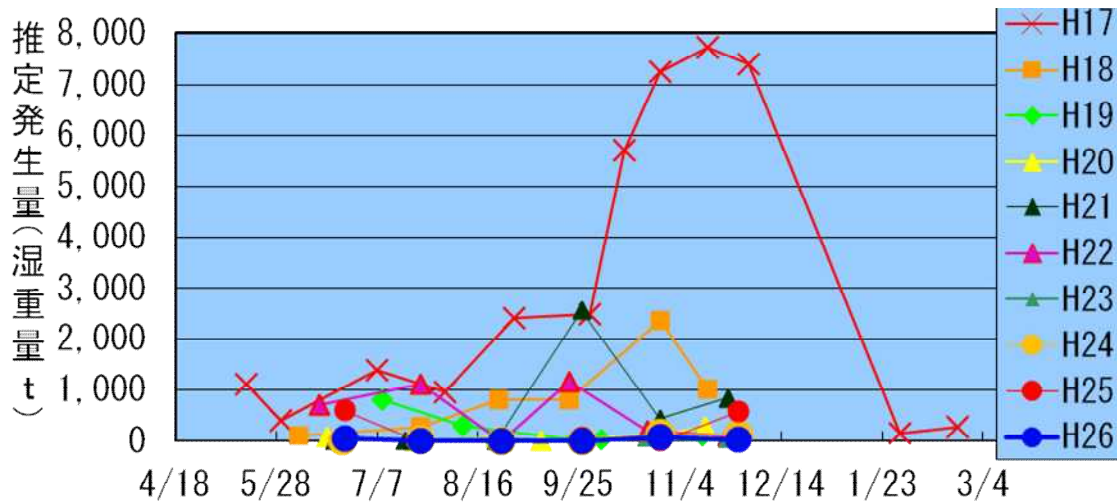


○ 3 節 - 1 豊かな漁場への改善の取組

・アオサ発生量モニタリング結果

5～11月にかけて1回/月の頻度でアオサ発生量モニタリング調査を実施しました。本年度の推定発生量も例年と比較して少なく、平成22年以降、漁場環境を悪化させるような大量発生はありませんでした。



三番瀬調査域内のアオサ推定発生量(湿重量, t)の推移

【参考】

- アオサの発生については、これまでのモニタリング結果より、推定発生量で 2,000 t を超えた段階で大量発生と捉えており、1,000 t 以上で注意を要するレベルと考えている。